

藤原まり子 2018年3月15日

すでに、SMR が担わなければならない役割、SMR の経済を定義する必要があるとすでに指摘されたが、世界的な都市圏競争の中で何を期待したいかを考えてみた。

SMR に期待する役割を想定してみると、地域全体、そして各結節点を中心にした地域を具体的に描く第一歩になる可能性がある。

1. 背景：グローバル競争における日本の優位性は揺らぎ続ける

個人消費の変化

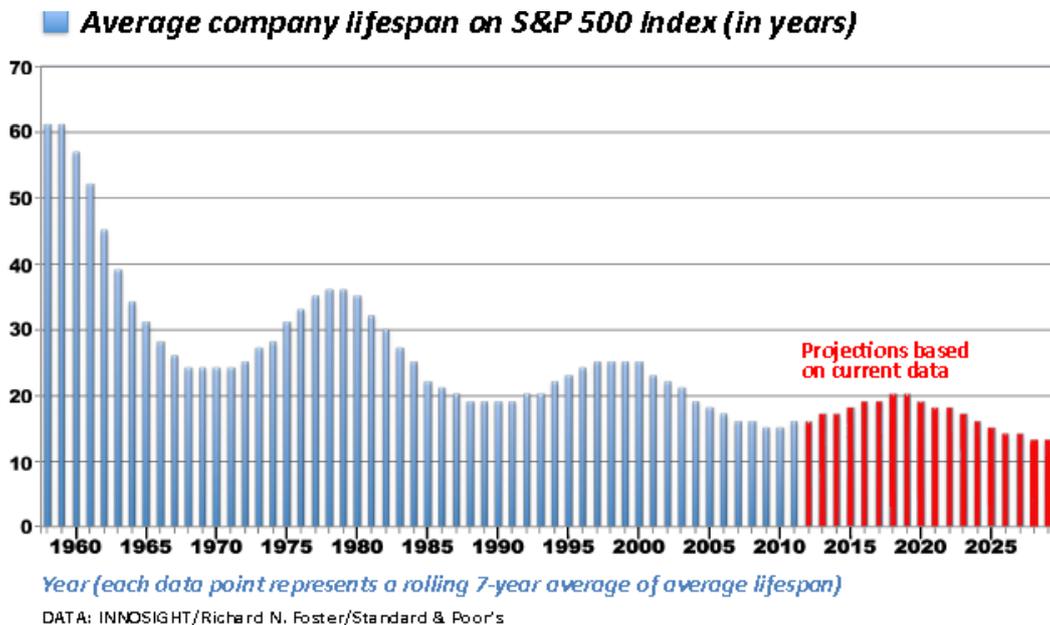
モノからサービス、デジタルコンテンツへ

プロダクトサイクル

「プロシューマー」の出現

加速するイノベーション競争

企業の寿命は短くなる



労働者不足？/ 深刻なミスマッチ？

今後日本において深刻なのは就労者のほとんど全員が程度の差こそあれ、ある時期(多くの場合複数回)には自らの知識やノウハウが陳腐化し、市場価値が下がるか、なくなってしまうという「ミスマッチ」を経験することにあるのではないか。

## 人的資源の開発競争は続く

“Employment” から “Employability” を確保する戦略に転換

### 2. 目標：SMR はイノベーションを継続させ、新産業の創出を支援

創造的破壊の速度が増す中で、SMR の議論の中では優れたイノベーション戦略が不可欠で、結ばれた地域が、どうすれば持続的にイノベーションを起こし続けられるかが論じられなくてはならない。

新産業クラスターを形成できるか

人と知恵の創造的な循環が生み出されるか

人的資源を継続的に開発できる場になるか

「新産業創出に際して、グローバルに評価できる、調達できる場」になれるか

競争力を持つ技術、人材へのアクセスと投資の機会を増大させられるか

環境と共生できる「スマートプロダクトチェーン」を構築できるか